

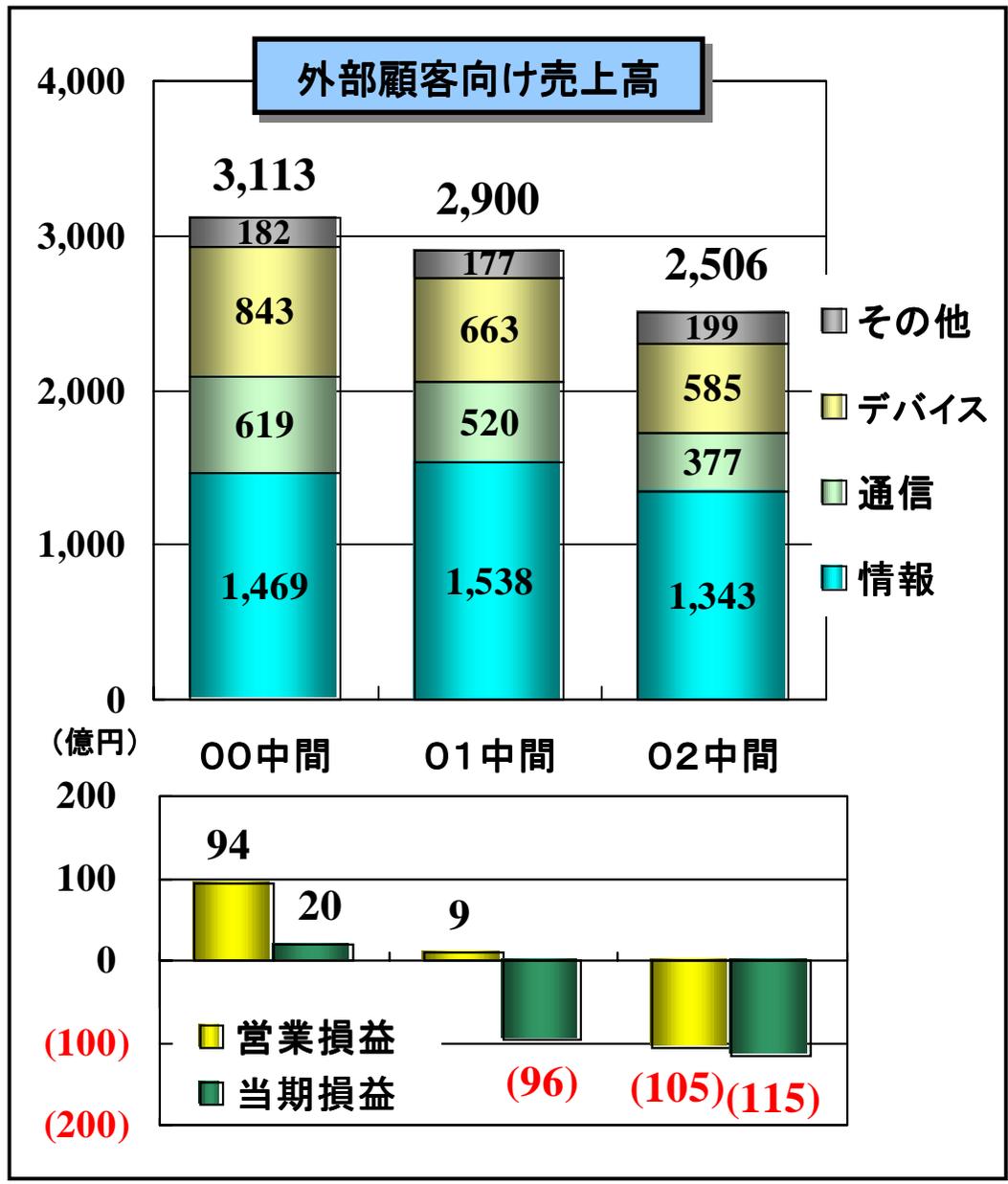
平成15年3月期 中間決算説明会

2002年10月31日

沖電気工業株式会社

<http://www.oki.com/jp>

2002年度中間期売上・利益(連結)



【中間期の概要】

- ◆ 売上・利益とも10月10日公表通り
- ◆ 前年同期対比売上高393億円減
 - 通信市況悪化によるメガキャリアの既存システム投資抑制および光コンポーネント需要減
 - コンビニATM、銀行ATMの下期へのずれ込み
 - 収束事業(カーエレ他)の影響
 - その他官公需等の減少
- ◆ 第2次構造改革による固定費削減効果はあるが、売上高減少に伴い営業損益は前年同期比114億円悪化



第3次構造改革に着手

- ▶ 通信、半導体、光関連および生産サービス事業の抜本的構造改革
- ▶ 緊急避難策の実施(1,500名の人員削減、資産売却)
- ▶ 成長期待分野への積極投資

2002年度中間期 P/L概要

- ◆ 変動原価率、固定原価ともに対前年で改善したが、売上高の減少により
対前年同期比 営業利益 △114億円、当期利益 △18億円の減益

(金額単位:億円)

	01中間	02中間	差異	備 考
売上高	2,900	2,506	△393	情報 △195 (金融△91、情報△76) 通信 △143 (基幹△120、NCC△20) デバイス △78 (光コンポ△65、メモリ△25) その他 +22 (EMS等)
売上原価	(76.3%) 2,214	(77.6%) 1,944	(1.3%悪化) △269	
売上利益	686	562	△123	売上減による利益減 約220億円 固定費削減効果 約100億円
販 管 費	676	667	△9	
営業利益	9	△105	△114	
営業外収支	△42	△52	△9	為替差損 △10(△11→△21)
特別損益	△120	△27	92	有価証券評価損 138(△143→△5) 事業再編損 △13(△11→△24)
当期利益	△96	△115	△18	

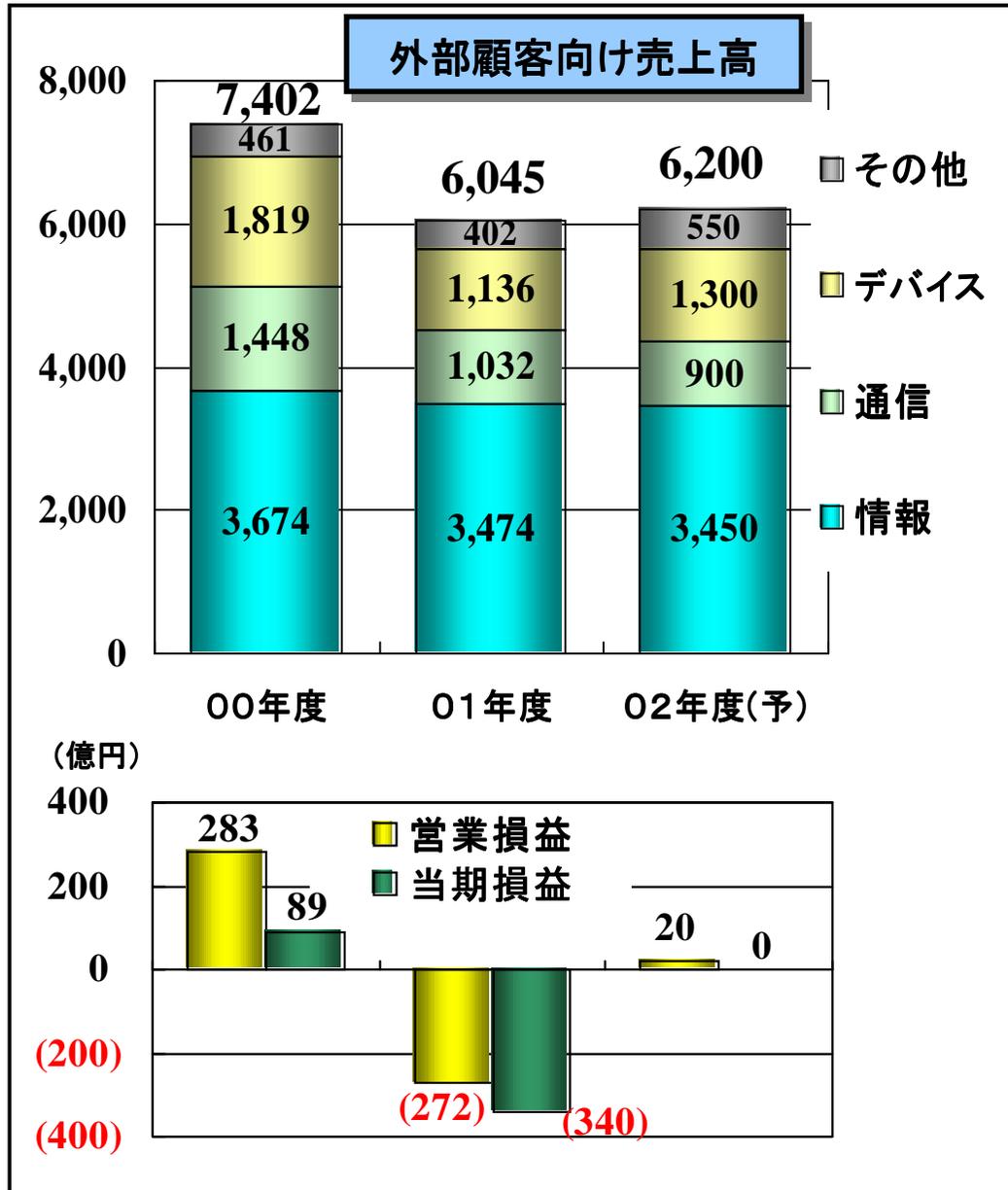
2002年度下半期 P/L概要

◆ 売上高増加による限界利益増と構造改革による固定費削減効果により
営業利益で対前年同期比406億円の増益見込み

(金額単位:億円)

	01下期	02下期	差異	備 考
売上高	3,145	3,694	549	情報+171(金融61、情報72、プリンタ38) 通信+11(基幹△72、NCC30、EP53) デバイス +242(Sys-L・ロジック109、メモリ115) その他 +126(関連企業・EMS売上増)
売上原価	(85.5%) 2,688	(76.4%) 2,821	(9.1%良化) 133	
売上利益	457	873	416	売上増による利益増 約280億円 固定費削減効果 約120億円
販管費	738	748	10	
営業利益	△281	125	406	
営業外収支	3	△48	△51	為替差額 △33(益33→0)他
特別損益	△139	122	261	資産売却益 76(85→162) 有価証券・棚卸評価損 121(△121→0) 事業再編損 39(△64→△25)他
当期利益	△244	115	359	

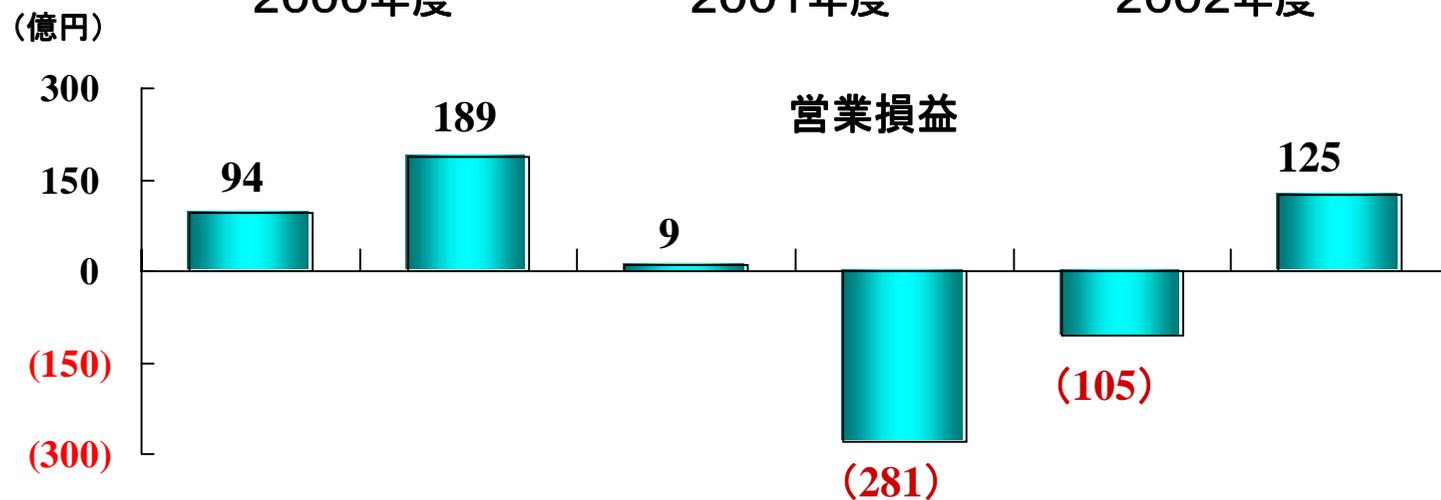
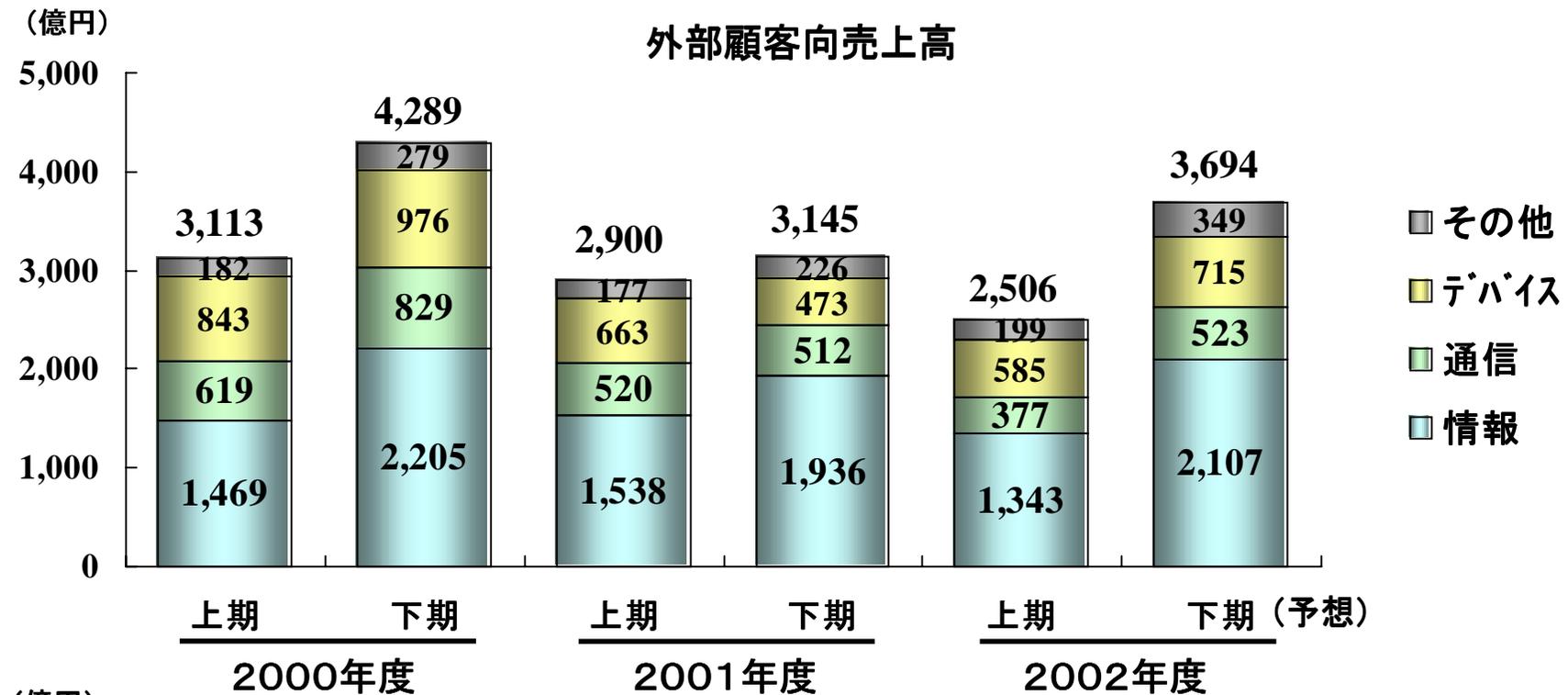
2002年度通期業績見込(連結)



【通期予想の概要】

- ◆ 前年対比155億円の売上増
 - 情報は金融機関の投資抑制はあるが、新紙幣対応ATMは増加
 - 通信はブロードバンド・IP関連の売上は増加するが、市況悪化によるメガキャリアの既存システム投資抑制のため前年比132億円の売上減
 - 半導体市況は下期回復基調にかげりがあるが、システムLSI、P2ROM、AS-LSI新製品の効果でデバイスは前年比164億円の売上増
- ◆ 営業利益は構造改革による固定費削減効果約220億円、売上増による増益効果約70億円で前年対比292億円改善の見込み
- ◆ 当期損益は構造改革費用約50億円が発生するが、資産売却益170億円を計上するため前年比340億円改善し、損益イーブンの見込み

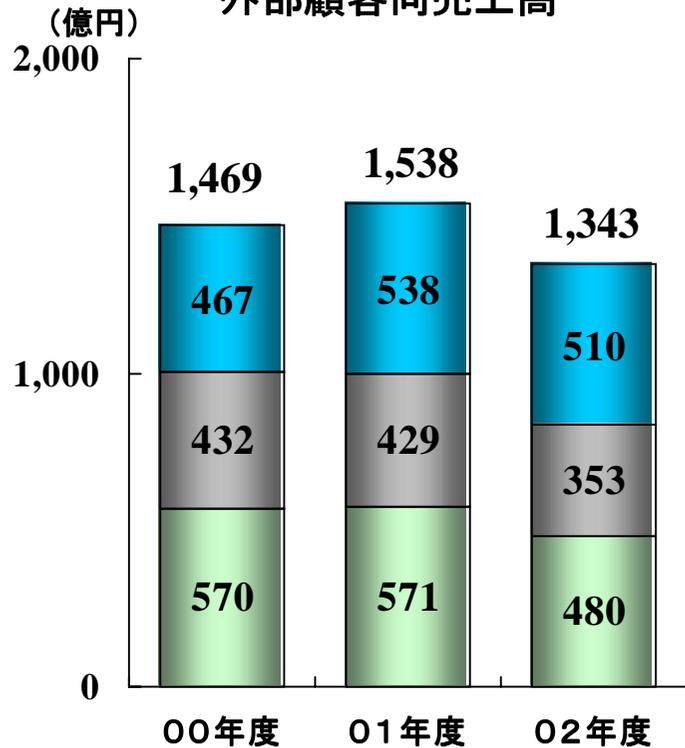
【02年度予想】半期別 売上高・利益(連結)



【02年度予想】情報 売上高・利益(連結)

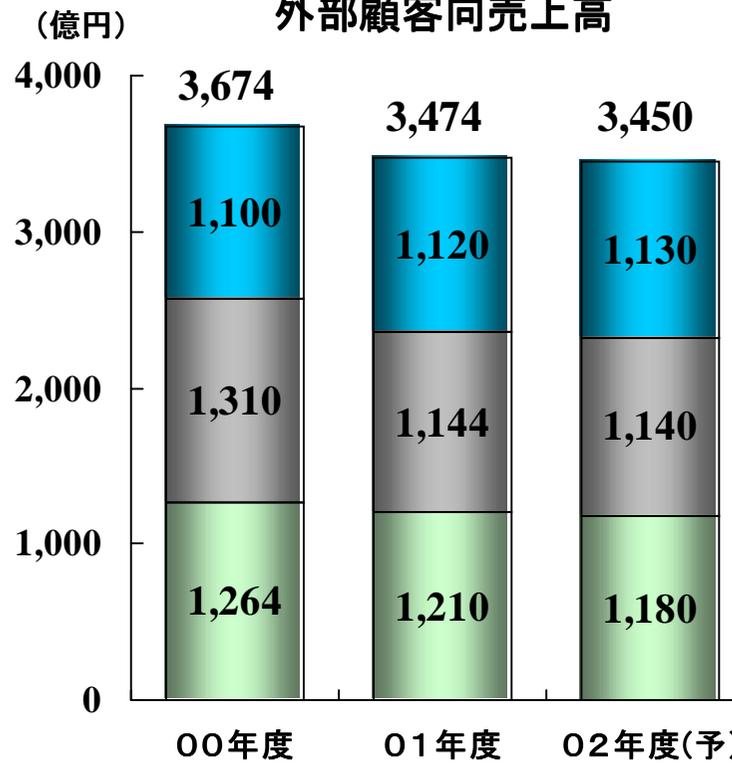
【中間期実績】

外部顧客向売上高

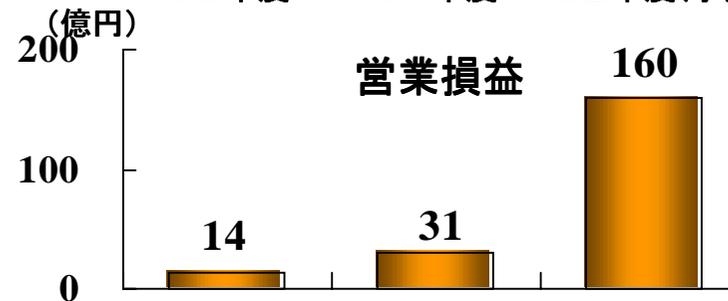
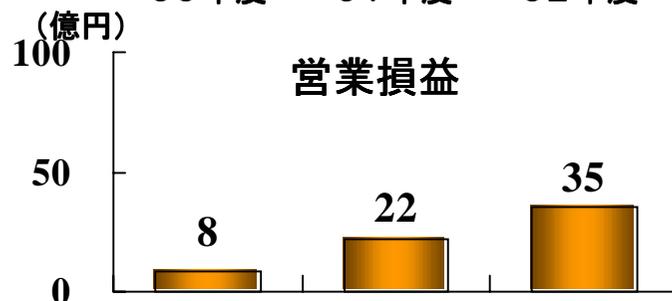


【通期予想】

外部顧客向売上高

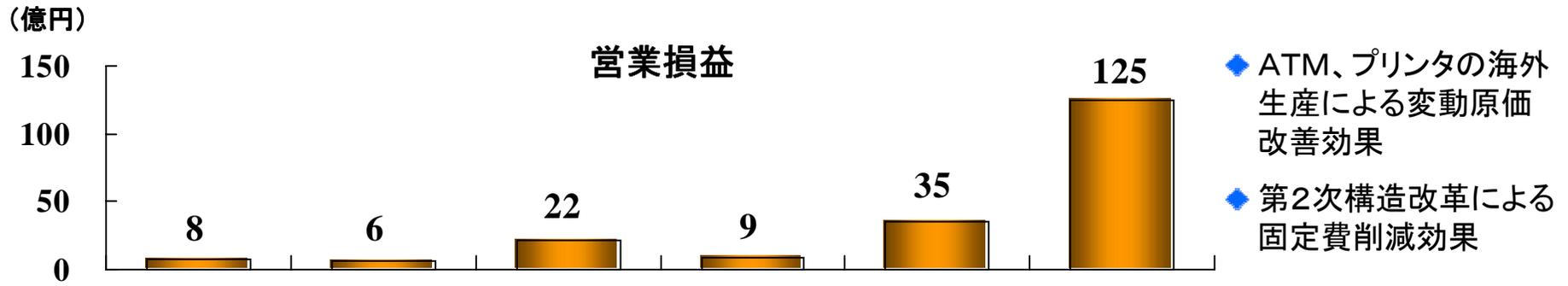
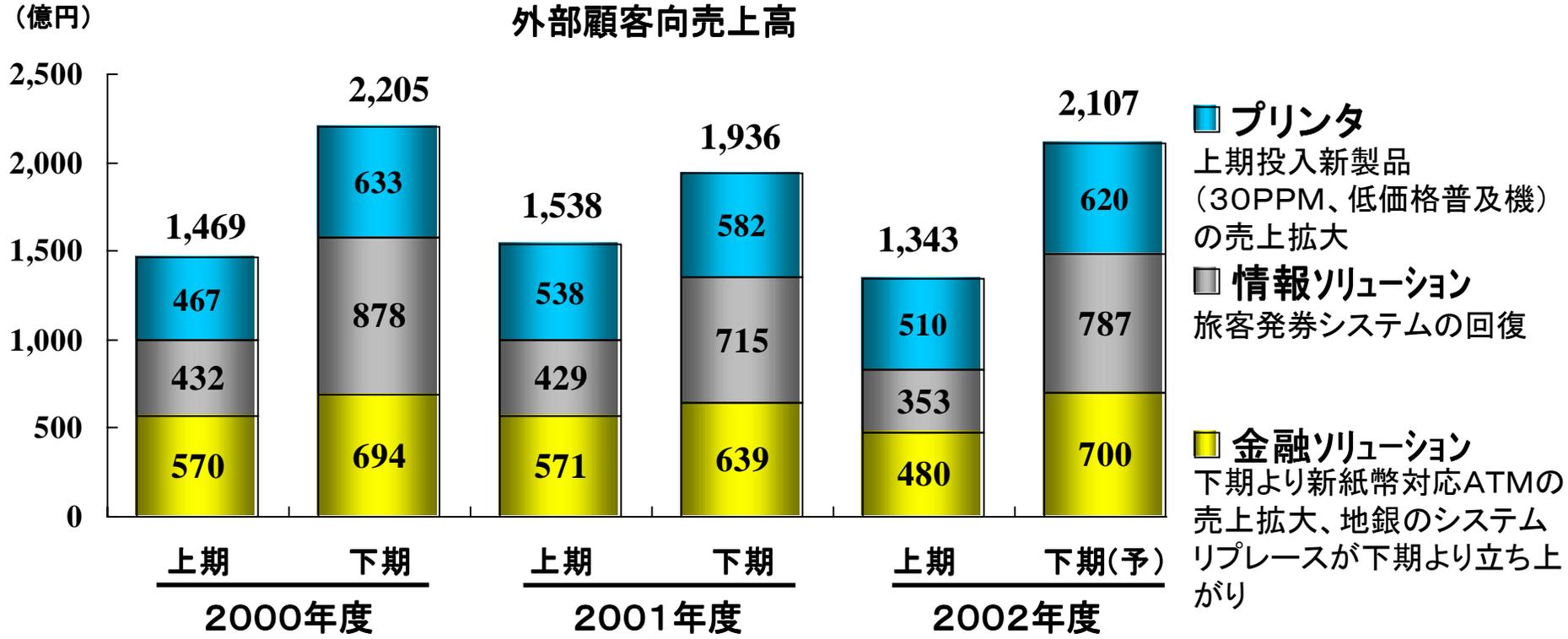


- プリンタ
SIDMの減少、
カラープリンタの売上増
- 情報ソリューション
旅客発券システムの回復、
収束事業の売上減
- 金融ソリューション
金融機関の投資抑制、
新紙幣対応ATMの売上増



- ◆ ATM、プリンタの海外
生産による変動原価
改善効果
- ◆ 第2次構造改革による
固定費削減効果

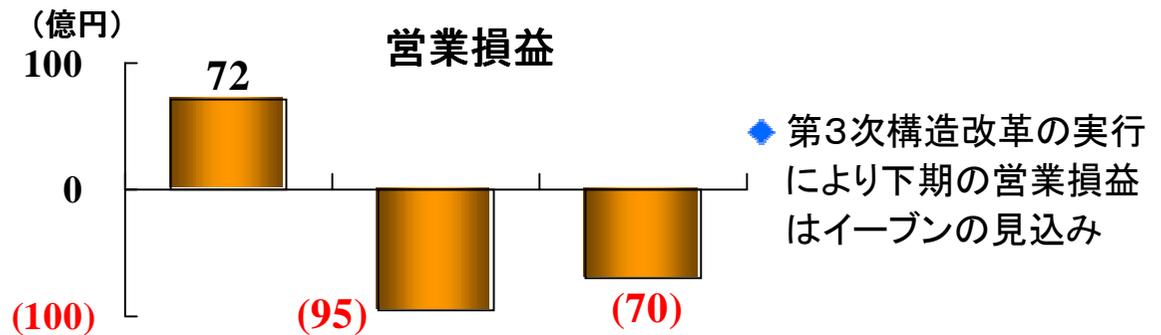
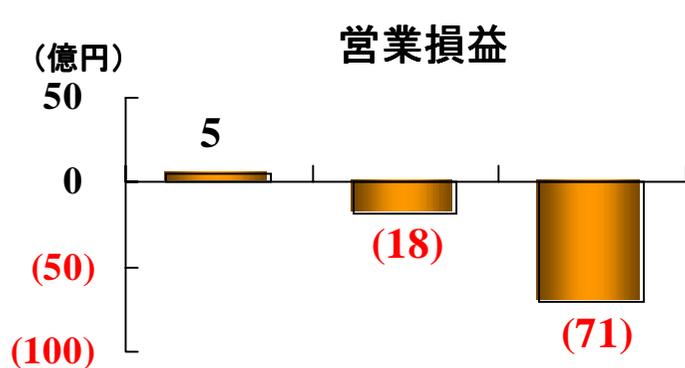
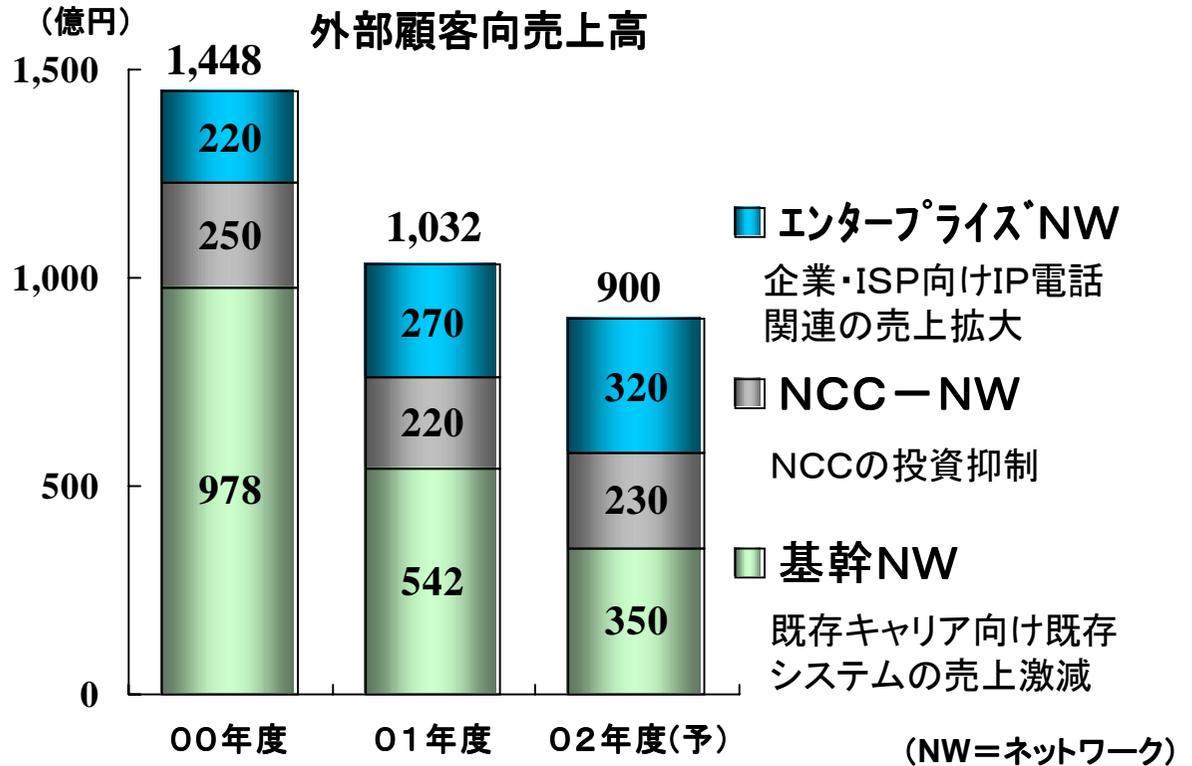
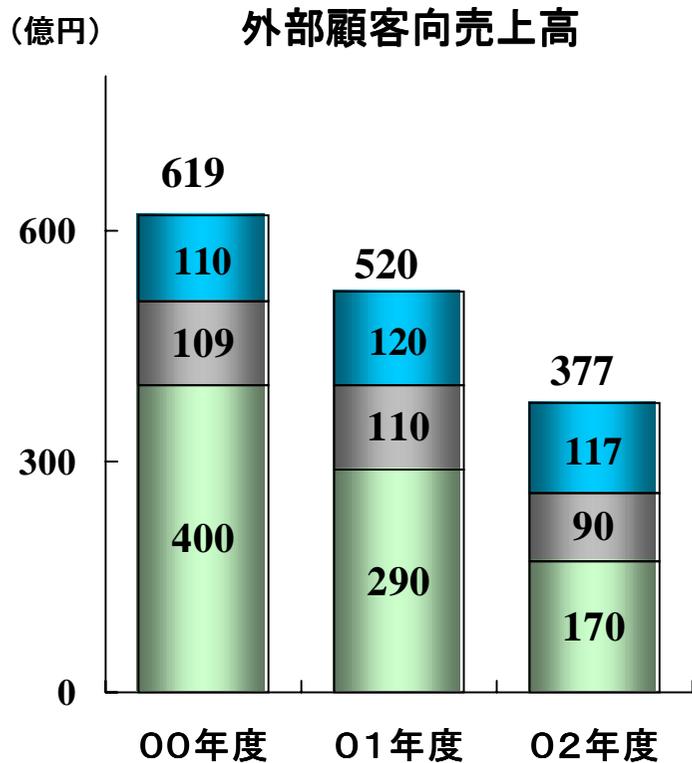
情報 半期別売上高・利益(連結)



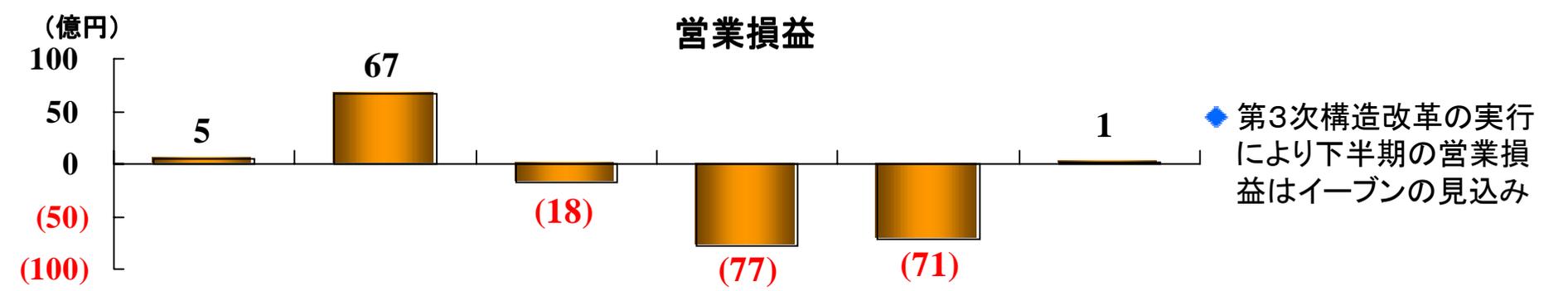
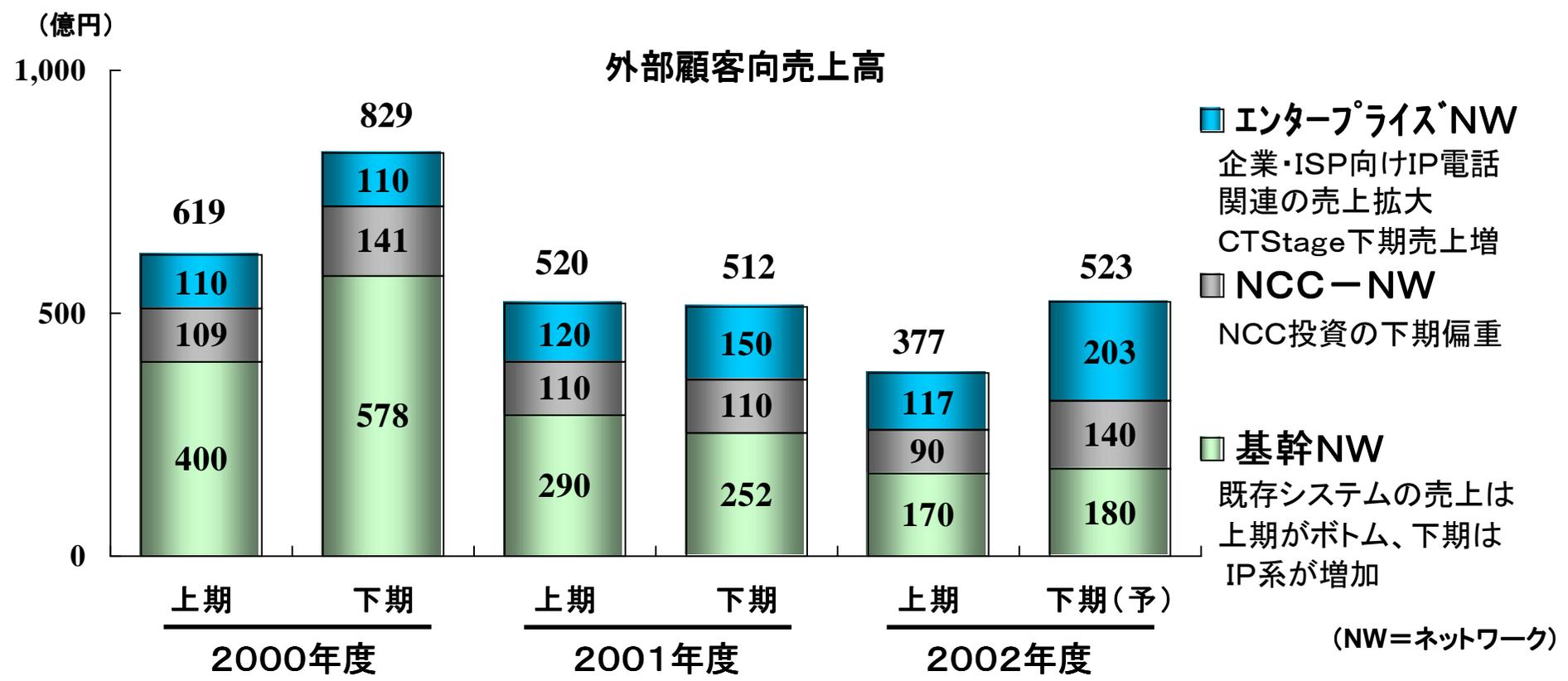
【02年度予想】通信 売上高・利益(連結)

【中間期実績】

【通期予想】



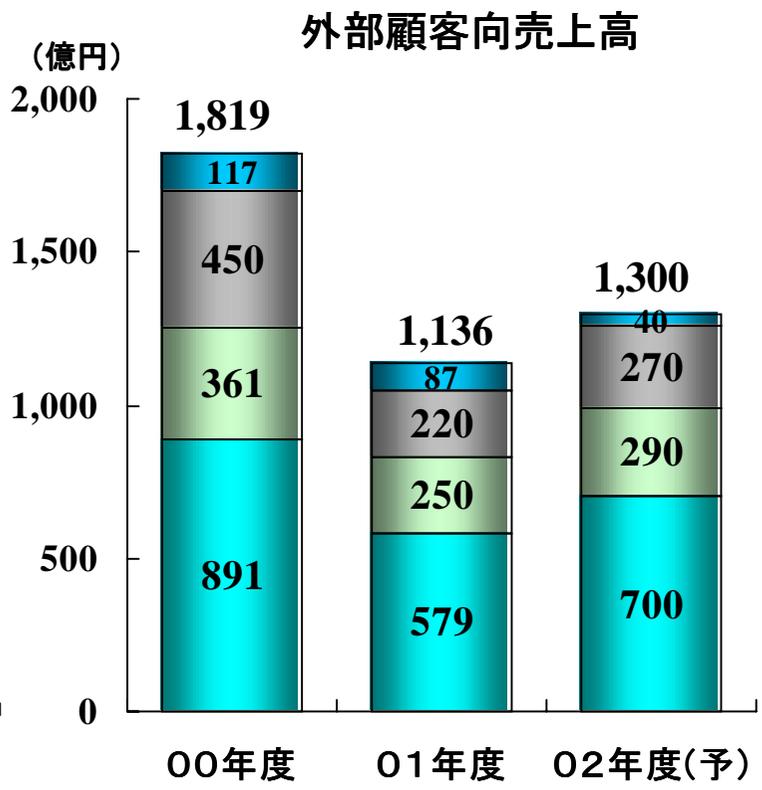
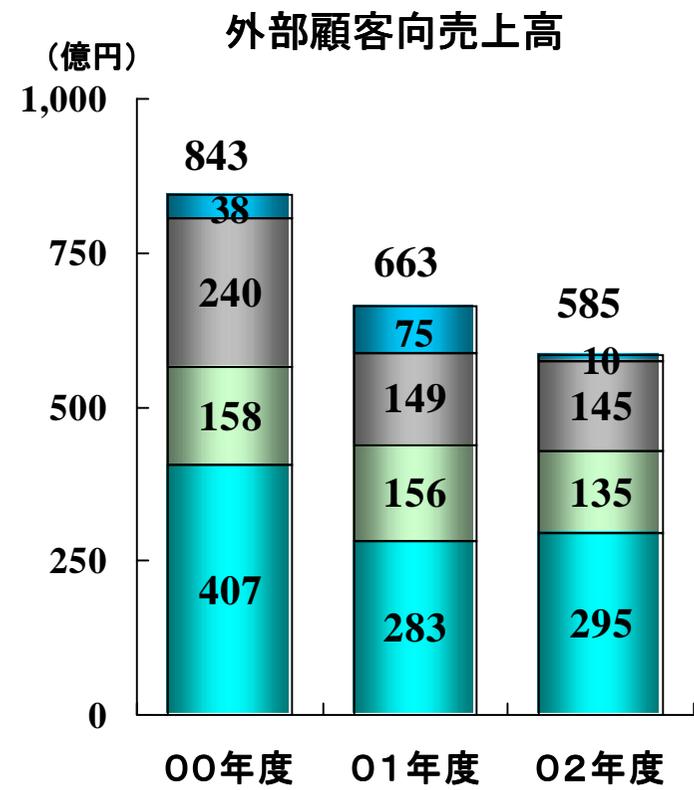
通信 半期別売上高・利益(連結)



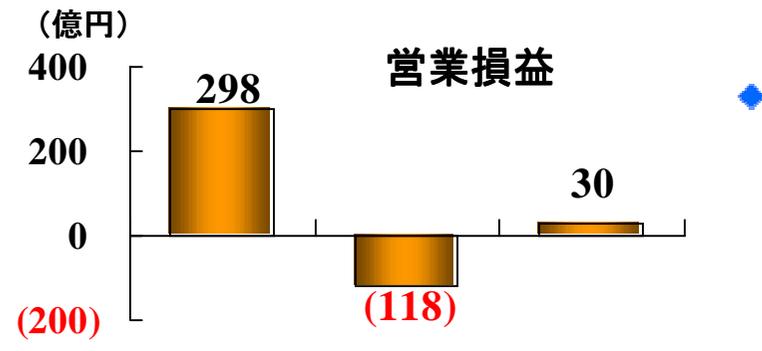
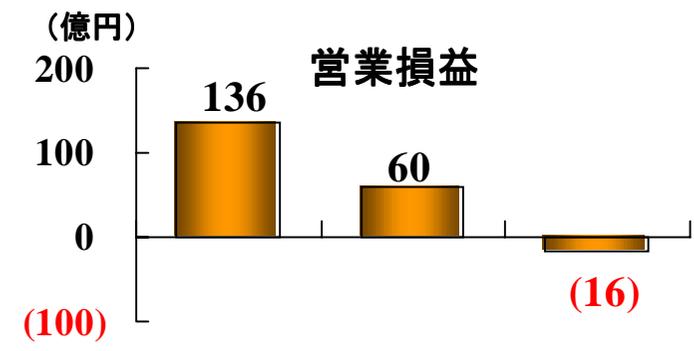
【02年度予想】デバイス 売上高・利益(連結)

【中間期実績】

【通期予想】

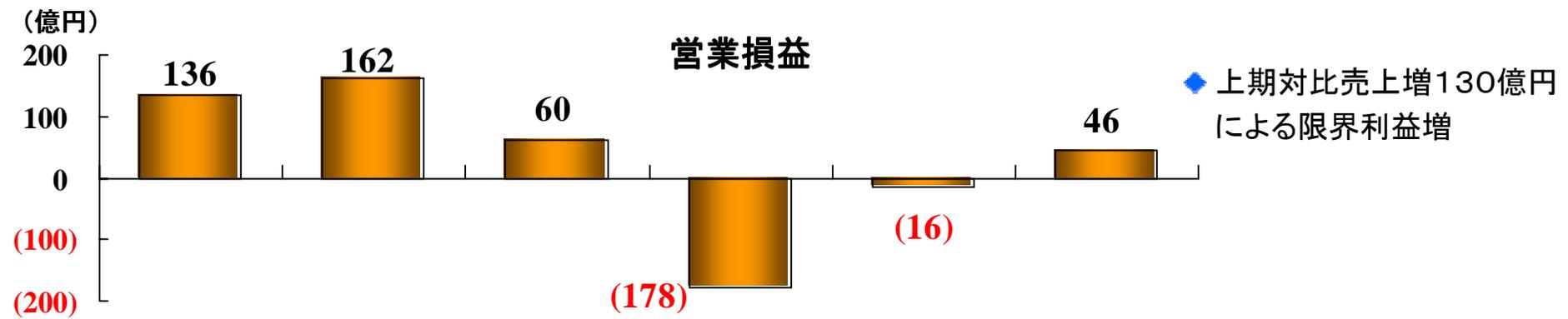
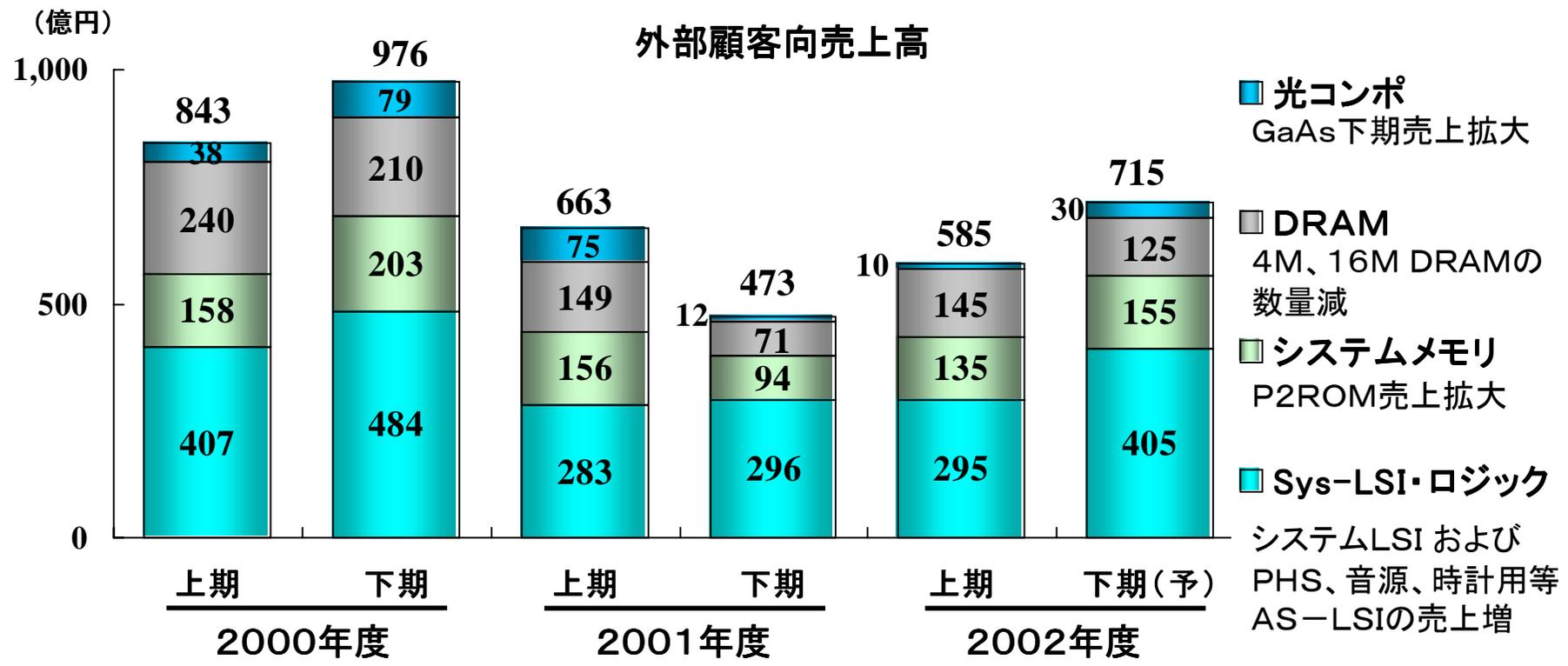


- 光コンポ
北米光通信市場の低迷が継続
 - DRAM
4M、16M DRAMの価格・数量の回復
 - システムメモリ
P2ROMの売上拡大
 - Sys-LSI・ロジック
システムLSI および PHS、音源、時計用等 AS-LSIの売上増
- (Sys-LSI=システムLSI)

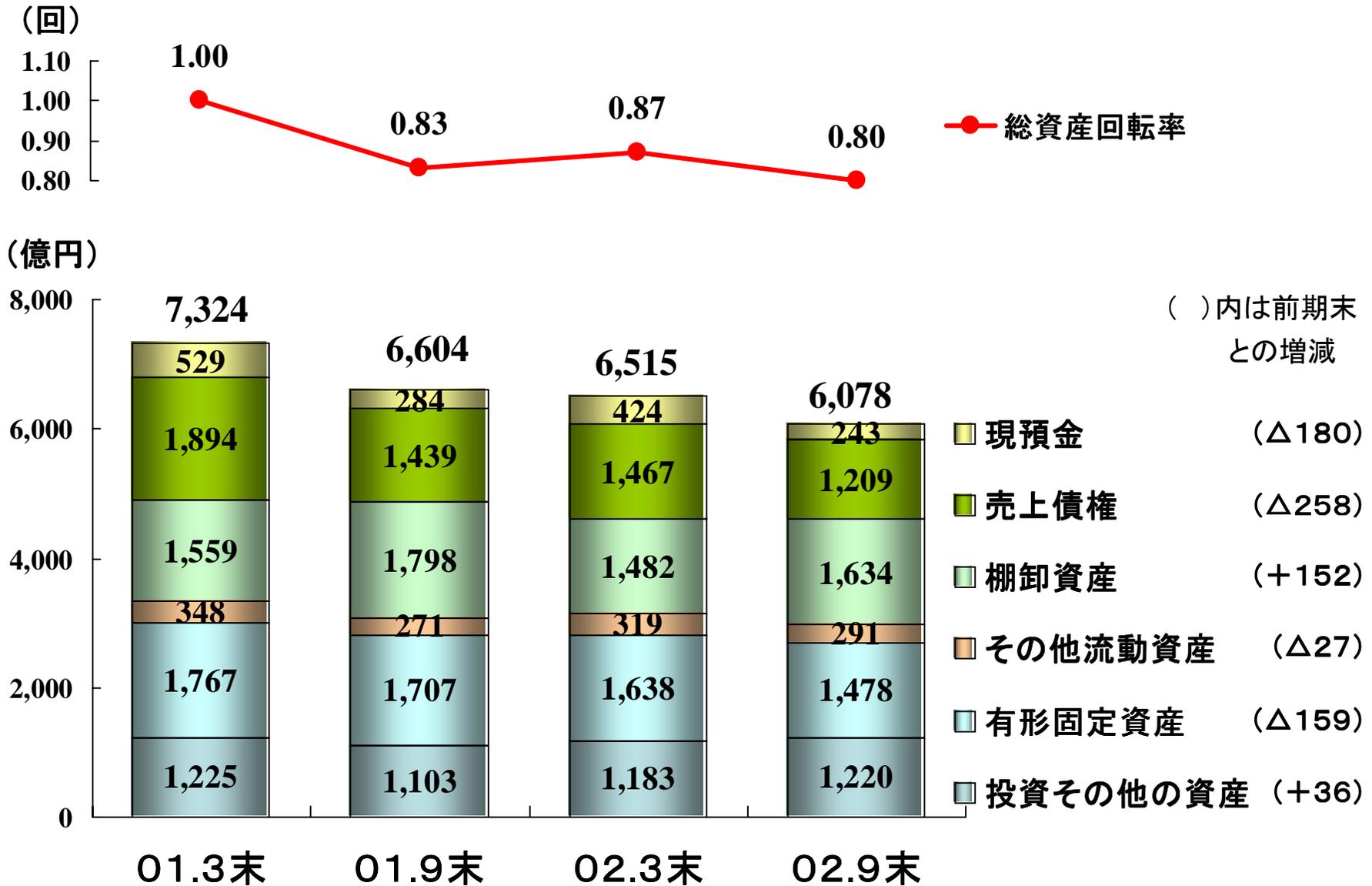


◆ 売上増164億円による限界利益増および固定費改善により営業損益は前年比148億円改善

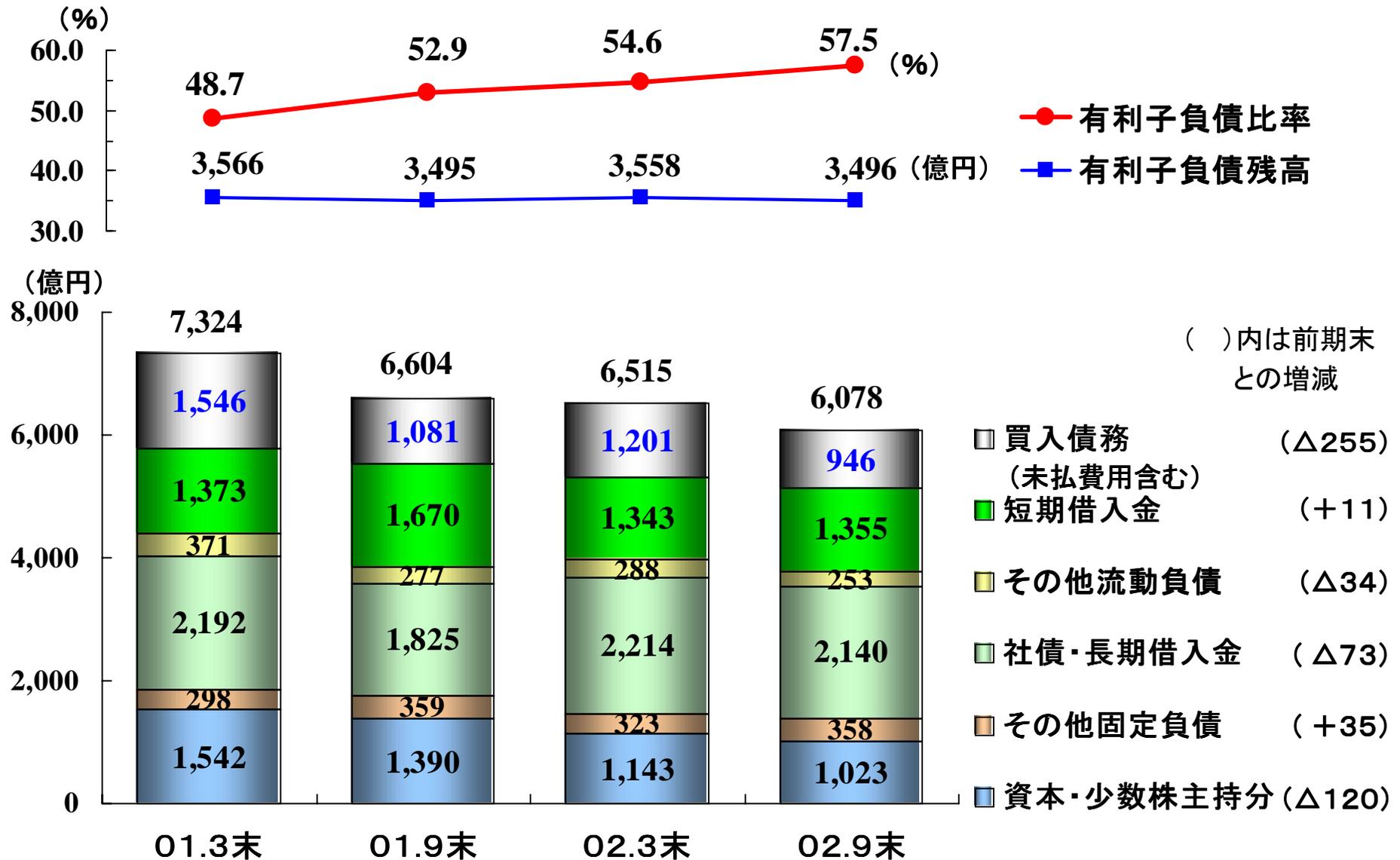
デバイス 半期別売上高・利益(連結)



【02年度中間期】貸借対照表 資産の部



【02年度中間期】貸借対照表 負債・資本の部



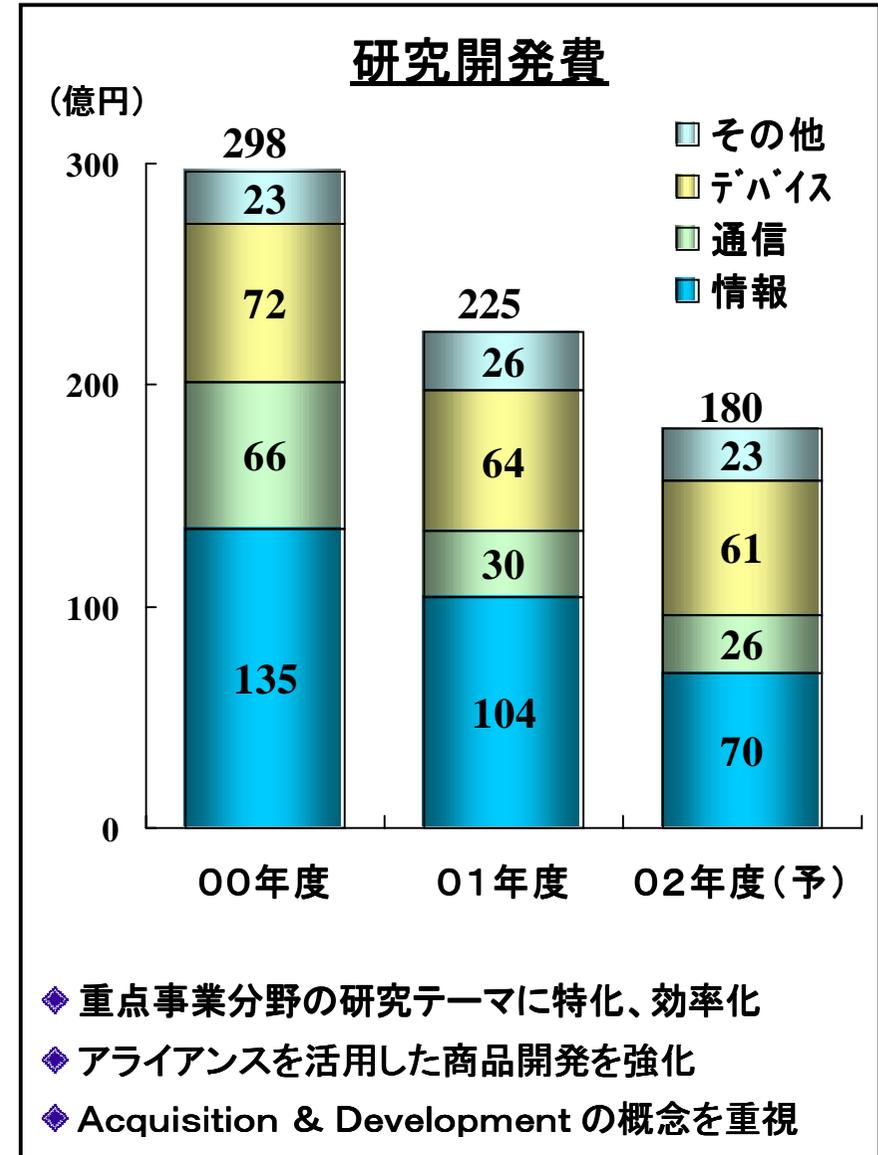
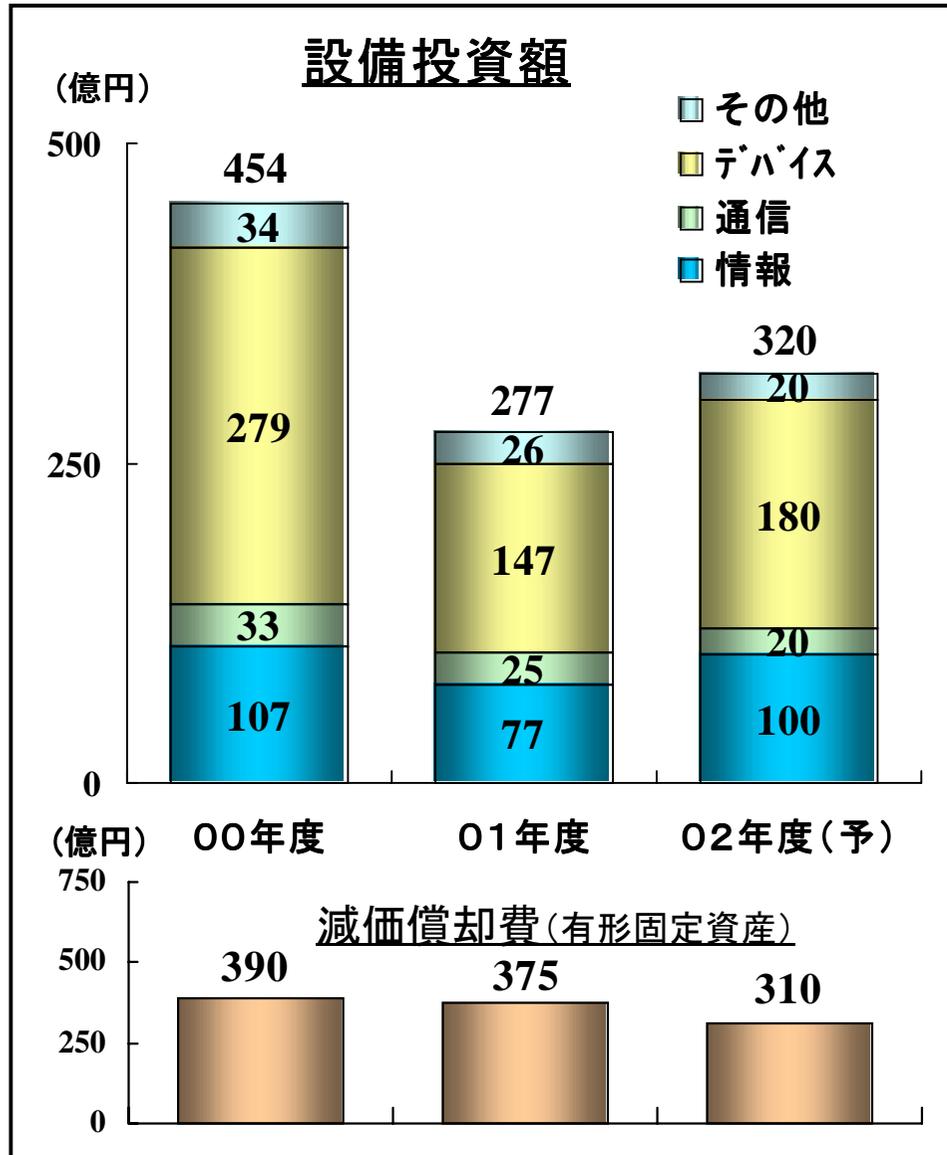
注) コマーシャルペーパーは短期借入金に、1年内償還予定社債は社債・長期借入金に含まれる。

キャッシュフロー

8月に社債225億円償還済み、通期では200億円の有利子負債圧縮予定
キャッシュフロー改善、事業再編の資金確保のため資産売却予定(有価証券・土地)

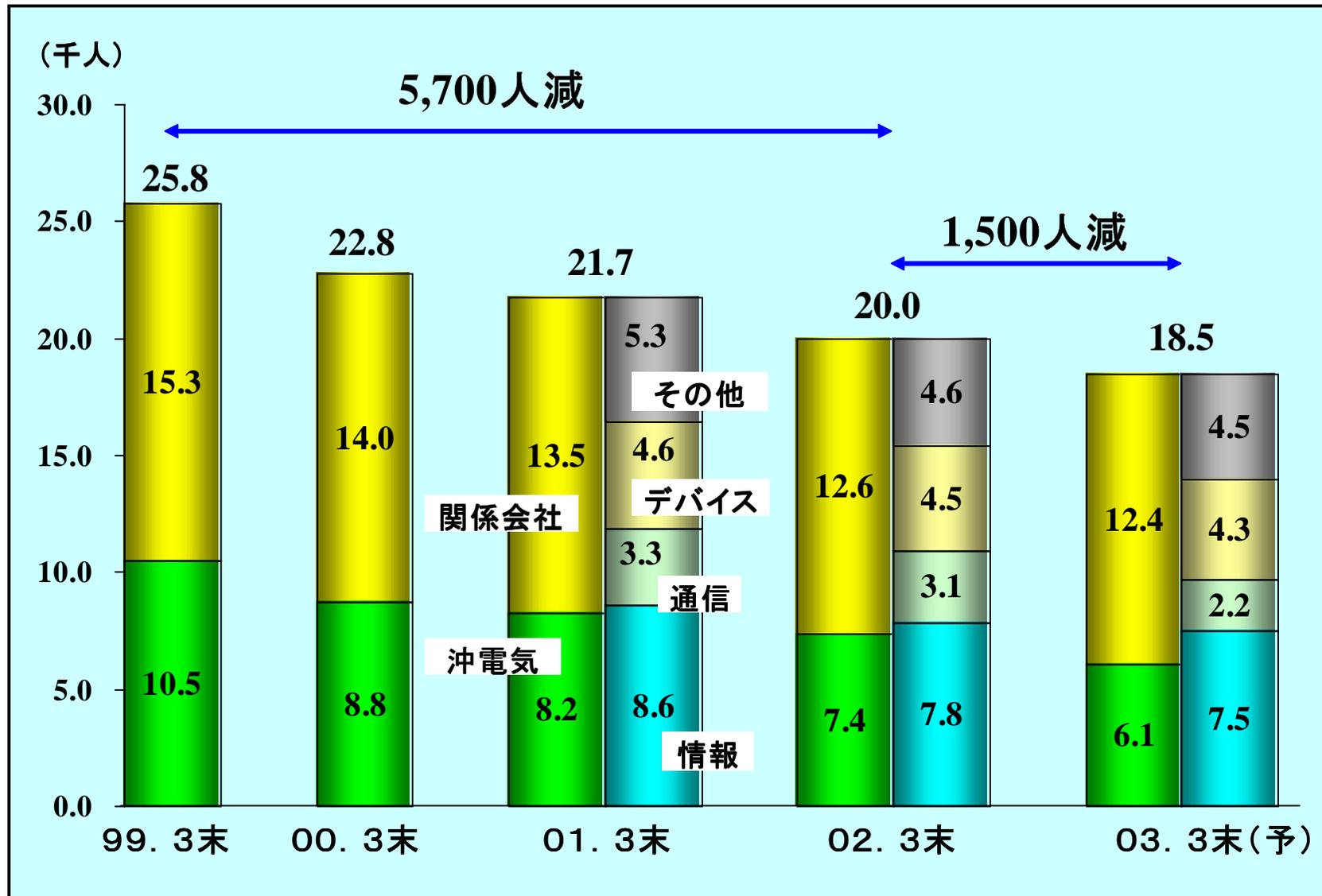
(金額単位:億円)	01年度		02年度	
	中間期	通期	中間期実績	通期予想
I 営業キャッシュフロー	▲ 25	168	▲ 90	400
法人税等調整前当期利益	▲ 153	▲ 570	▲ 185	15
減価償却費	247	480	200	410
運転資金の増減	▲ 177	248	▲ 116	100
その他	57	10	11	▲ 125
II 投資キャッシュフロー	▲ 158	▲ 258	▲ 44	▲ 140
設備投資支払額	▲ 187	▲ 325	▲ 122	▲ 270
その他投資活動	28	68	78	130
(I + II) フリーキャッシュフロー	▲ 183	▲ 90	▲ 134	260
III 財務キャッシュフロー	▲ 50	3	▲ 60	▲ 200
社債償還	▲ 240	▲ 245	▲ 225	▲ 225
長短借入金の増減他	189	248	164	25
(I + II + III) キャッシュフロー計	▲ 234	▲ 86	▲ 194	60
現金同等物等の期末残高	297	454	254	514
有利子負債の期末残高	3,495	3,558	3,496	3,358

設備投資額・減価償却費・研究開発費



人員推移

国内従業員数推移(非連結関係会社を含む)



略語説明

P2.	ATM	Automated Teller Machine
P3.	NCC	New Common Carrier
	EMS	Electronic Manufacturing Services
P5.	IP	Internet Protocol
	P2ROM	Production Programmed Read Only Memory
	AS-LSI	Application Specific LSI
P7.	SIDM	Serial Impact Dot Matrix
P8.	PPM	Page Per Minute
P9.	ISP	Internet Services Provider
P11.	DRAM	Dynamic Random Access Memory
	LSI	Large Scale Integrated circuit
	PHS	Personal Handyphone System
P12.	GaAs	Gallium Arsenide

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。